



## ラグビーワールドカップ 盛り上がっています！

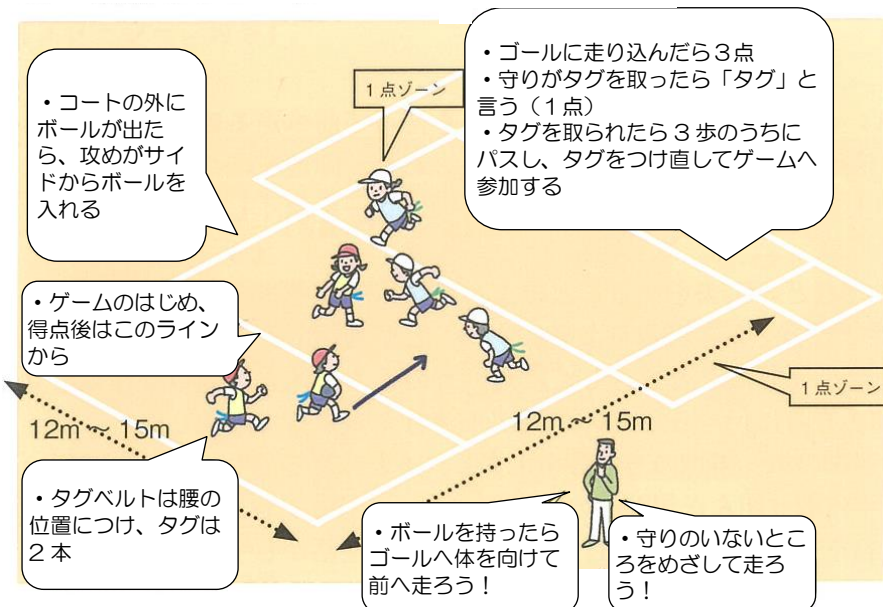
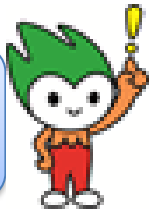


日本各地で開催されているラグビーワールドカップが盛り上がりを見せています。特に日本代表チームの「チームで一つのボールをつなぐこと」「自分の役割をしっかりと果たして得点されないように守ること」など、チーム一丸となって戦う姿は日本中に大きな感動を与えました。ラグビーの試合を見て、自分もやってみたいと感じる人も多かったのではないのでしょうか。

今月号では、学校でも取り組める「タグラグビー」について紹介します。仲間と協力して得点する楽しさを味わってみてください。

## タグラグビーを楽しもう！

「ラグビー」は、ボールを相手から奪うために、体と体がぶつかり合いますが、「タグラグビー」では、相手の腰についているタグを取ることで守ります。



### ☆ルールの例

○攻撃側は、タグを4回取られたら、攻守交代する

○守備側は、タグを取ったら「タグ」と大きな声で宣言し、タグを相手に返してゲームに戻る

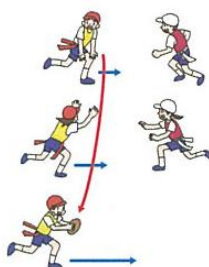
相手にタグを取られないように走るのは、「おにごっこ」と似ているね。

他のスポーツにも似ている動きがあるかな。



### こんな作戦にチャレンジ！

一人飛ばして奥の人へパスをする作戦を試してみよう。ポイントは、ボールを持っていない人がどう動くかです。



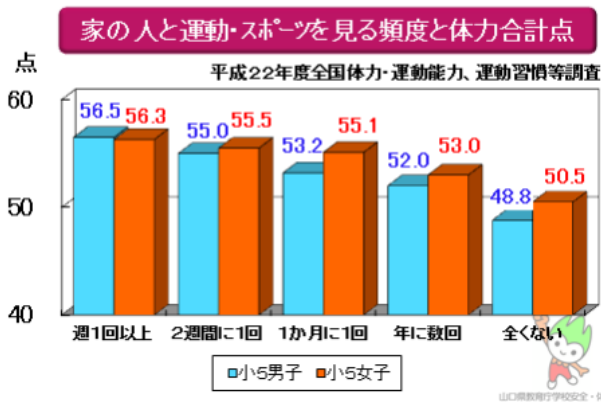
# ラグビーワールドカップ 心に残ったことは？

ラグビーワールドカップで、はじめてラグビーの試合を見たという人も多いと思います。どんなことが心に残りましたか？ 「みんなで力を一つにすること」「最後まであきらめずに走り抜くこと」「仲間のために力を尽くすこと」など。学校や家庭で話題にしてみましょう。

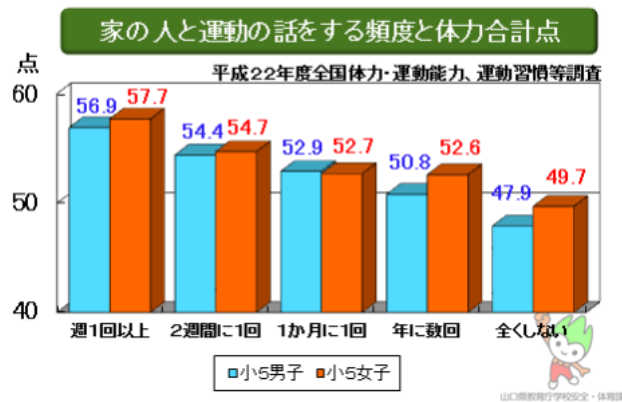


家の人とスポーツを見たり、話したりする人は、体力が高い傾向があるようです。

子どもの家庭における運動・スポーツとの関わりと体力との関連(山口県の状況)



子どもの家庭における運動・スポーツとの関わりと体力との関連(山口県の状況)



さあ、家の人とスポーツを見たり、話したりしてみよう！



☆保護者の皆様へ☆

## 「する・みる・支える・知る」体育学習

今の学校体育では、運動やスポーツの楽しみ方を子どもたちに感じてもらうことの大切さ、また「運動が苦手」や「意欲が低い」子どもにも配慮した指導を重視しています。つまり、運動やスポーツを「する」だけでなく「みる・支える・知る」等の多様なかわりを大切にしながら、すべての子どもが運動のスポーツの楽しさに触れることをめざしています。

「ラグビー日本代表選手のことをもっと知りたい」「松島選手みたいなトライを決めてみたい」「ラグビーの歴史やルールを調べてみたい」など、自ら運動やスポーツと触れ合うきっかけをたくさん作り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しむことができるようになってほしいと願っています。

2019年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されました。2020年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の年でもあります。「する・みる・支える・知る」といった様々なかわりの中で、スポーツの価値をより広く子どもたちに知ってもらうチャンスといえます。